

とくしま集落再生プロジェクト（案） 概要

1 計画の背景等

- 平成23年4月に全国過疎地域等の集落調査結果が公表
本県の「65歳以上の高齢者が住民の半数以上を占める、いわゆる「限界集落」の割合が、35.5%と全国平均を大きく上回る状況
- 「限界集落」における多くの課題
 - ・ 地域を支える人が減少し、地域住民で行う共同作業や行事が困難
 - ・ 地元で働く場所が不足
 - ・ 鳥獣被害や空き家の増加 など
- 一方、こうした集落が有する多くの資源
 - ・ 県下隅々まで整備された全国屈指の「高速情報通信基盤」
 - ・ 澄んだ空気やきれいな水、受け継がれてきた美しい景観
 - ・ 古くから伝え育まれた芸能・文化 など

2 基本的考え方

- 県及び各市町村は、「過疎地域自立促進計画」に基づき
過疎地域の基盤整備をはじめ、計画的かつ総合的な過疎対策事業を推進
- これに加えて、「とくしま集落再生プロジェクト」は
過疎地域の中でも特に厳しい状況にある、「限界集落」に焦点を当てた、
全国屈指の「高速情報通信基盤」や 「集落が有する資源」を活用し、
集落再生の成功事例を創出するための、具体的な取組策（処方箋）を提示
- 県民共通の課題として、
がんばる意欲と行動力を持った集落と、NPO等の団体や民間事業者、
それを支える行政が、多様な主体の「知恵や力」を活かし、
チームとなって連携・協働し、総力を挙げてプロジェクトを推進

3 プロジェクトの概要

- 集落再生の実現に向け取り組む、36の具体的な取組策を
「安全・安心の確保」「地域資源の活用」「人材確保・育成」「魅力発信」
の4つの重点分野に区分
- 計画期間：平成23年度から平成27年度までの5年間

4 目指す姿

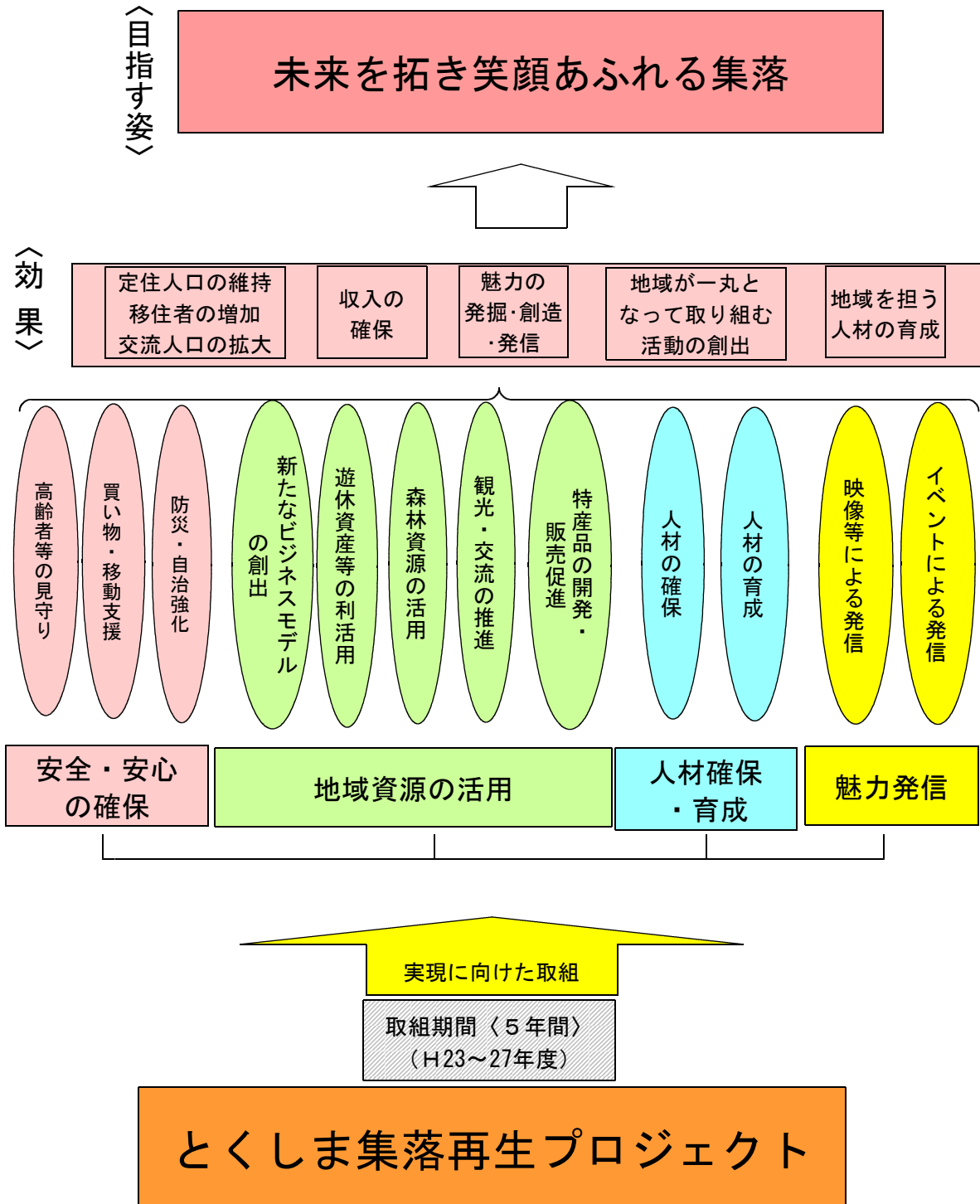
- ・ 世代の循環が続き、新たな可能性に挑戦する集落
- ・ 受け継がれてきた地域固有の生活文化や技術が継承される集落
- ・ 住民が安心して、生きがいを持って暮らせる集落

すなわち「未来を拓き笑顔あふれる集落」を目指す。

5 推進体制

「推進組織」として、「とくしま集落再生推進委員会（仮称）」を設置
プロジェクトの実効性を上げるため、見直し等を適宜実施し、
「進化する」プロジェクトとして展開

6 プロジェクトの体系



7 プロジェクトを構成する取組

重点分野	取 組 策		
(1) 安 全 ・ 安 心 の 確 保	① 高齢者等の見守り	ICTを活用した高齢者の見守りネットワークの構築 ★実証実験中：高齢者見守り等支援事業	
		「見守り活動協力機関」との連携による高齢者等の「見守り活動」	
	② 買い物・移動支援	地域特性に応じた買い物・交通弱者対策システムの構築 ★実証実験中：四国の右下“集落右上がり”大作戦	
		住民の移動手段の確保サービスの構築	
	③ 防災・自治強化	鳥獣被害防止対策の推進	
		多様な主体による森づくりの推進	
		集落の防災力強化・孤立化対策の促進	
		ICTを活用した自治会の団結力の強化 ☆実証実験予定：上勝町集落再生システム（仮称）	
	(2) 地 域 資 源 の 活 用	① 新たなビジネスモデルの創出	ICTを活用した県外企業によるサテライトオフィスの展開 ★実証実験中：とくしまサテライトオフィスプロジェクトの実施
		② 遊休資産等の利活用	空き家の利活用運用システムの展開 ★実証実験中：上勝町谷口・大北集落における空き家活用事業
遊休農地の活用推進（耕作放棄地の再生）			
薬膳料理・薬草栽培の普及 ☆実証実験予定：宿泊施設での活用に向けた薬草の試験栽培 ☆実証実験予定：「阿波☆美粥（あわびかゆ）（仮称）」プロジェクトの展開			
集落の強みを活かしたエネルギーの地産地消の推進 ★実証実験中：佐那河内村における小水力発電地域活性化モデル事業			
③ 森林資源の活用		多様な主体による森林資源の活用	
④ 観光・交流の推進		古民家再生による滞在型観光の推進	
		農林漁家民宿の推進	
		体験型教育旅行の推進	
		集落の石積み景観の保全と活用 ☆実証実験予定：石積み景観を維持・保全するマッチングシステム	

重点分野		取組策
(2) 地域資源の活用	④ 観光・交流の推進	公衆無線LANの拡大・推進
		「コミュニティカフェ」ネットワーク化の推進
	⑤ 特産品の開発・販売促進	地域の特産品を活用した新たな商品の開発、販売促進 ★実証実験中：「タブレット端末」を利用した農家向け注文受発注システム
		野生鳥獣の食肉、料理への活用
(3) 人材確保・育成	① 人材の確保	仕事力や情報発信力のある人材の誘致
		移住者・移住希望者を支援するための体制の充実
		地域おこし協力隊・集落支援員の導入促進
		“まちとむら”の「協働」による農山漁村の保全・活性化の促進
		集落の外部応援団の獲得
		専門的な知識や経験を有する者による人的支援体制の構築
		地域産業の継続・維持のための新たな人材確保
	② 人材の育成	大学との連携による地域振興策の検討・推進
		地域や集落を支える人材の育成
		特許等を活用した人材育成 ☆実証実験予定：特許等を活用した起業に向けた支援体制の構築
(4) 魅力発信	① 映像等による発信	集落の美しい景観などの映像コンテンツの蓄積と利活用促進
		写真展等を通じた集落の魅力発信
	② イベントによる発信	集落における手作りの限定製品の展示即売と集落のPR ★実証実験済：「むらの宝を伝え隊」プロジェクトの実施
		文化や伝承を活かしたイベントによる地域活性化